

- ・追加・変更箇所は**赤字**で表記。改訂日付は最新のみを記載。
- ・このメモから、ご自身の必要箇所を楽譜に転記するなど有効活用して下さい。

初版 2024/06/25

改訂 2025/01/07

【Sloop John B】 変更と注意事項

<曲を通じて>

- ・演奏方針：本番は早めのテンポで演奏する。今は追いつくのに必死かもしれないが、慣れればできる。
慣れたら、lu lu や la la も余裕持って、跳ねる感じで軽やかに。

・曲想：

<全般事項>

- ・掛け合いが多いので自分のパートを把握するのが大変なのと、3番まである歌詞が大変。
- ・15小節 B1 4拍目 #F→**♭F**に訂正。ただし、18,20小節は、#Fなので下がりすぎない。
- ・31小節 B1 4拍目は「**♭F**」に訂正。
- ・32小節 B2 4拍目の裏の「F」にリマインドとして記譜上「#」をつけておく。

<個別事項>

- ・5小節他 曲全体 B2 「Lu」を豊かに響かせる。特に低音域は「る」だと出しづらと思うので、「Lo」とか「Du」を意識して発音。まどろっこしい音に聞こえるかもしれないが、豊かな響きを優先。
「Lo」は、「u」を「o」のあごの位置を変えずに唇をつぼむ。「Du」では Lu を意識して柔らかく。
- ・4小節 B1B2 3拍目「la」は後ろで切って4拍目の「Lu」をきちんと発音する。
- ・7,8小節 全パート 2番 broke up は、ブロカーツプ（ブローカップではない）。
- ・10小節 B1 1拍目は#F。♭Fの癖を払拭。ただし、14,15小節では♭Fになる。
- ・11小節 B1B2 2番 him away Oh は、ヒーム ア ウェーエイ オオ。
付点4分音符・8分音符・付点4分音符・8分音符 のリズムをきちんと。
- ・13～16小節 全パート
難しい和音の進行では特に、ハーモニーがどう続いているかを理解して初めてピッタリと合う。
- ・14小節 T2 2番3番 2拍目の裏「please」は8分音符に収める。
- ・16小節 T2B1 1拍目で切る。（HmとWellをつなげない）。
- ・18小節 T1T2B1 1拍目は4分休符。（17小節の8分休符とはリズムが違っている）。
- ・19-20小節 全パート 「la la la」は切れよく弾む（ランランに近い感じ。らーらーと流すのはダメ）。
- ・25～27小節 B2 音の動き（上下）を譜面通りきちんと認識して正しい音程でうたう。

パートソロのつもりで、B2 の響き重厚さでメロディを奏できるように。

- ・29～32小節 和音の構成は13～16小節と同じ、ただし歌い方（部品）は違うので注意。
- ・35小節 B2 2拍目の裏の「B」の音をしっかりと出す。
- ・35～36小節 B1B2 lu lu lu 切れよく弾む（ルンルンに近い感じ。るーるーと流すのはダメ）。